

## 2018 年度を振り返って

第3期 OB 横山 嵩

昨年と比べれば暖かい日が続いているような気がする今日この頃ですが、オフィスの中は結構暑くて既に卓上の扇風機は力強く回っている3期横山です。

さて、2018年度も色々ありましたが、個人的に特に印象深かったのは、日大アメフトの悪質タックル騒動だったでしょうか。問題となった選手のポジションは自分の隣のポジションだったため、状況がよくわかるだけに、非常に残念な一件でありました。自分も1人の選手としてアメフトには長年携わっていますが、アメリカ本国での圧倒的な人気に比べ、未だ日本では日ごろあまり話題には取り上げられないマイナースポーツの域を出ない状況です。周囲にも「ラグビーと何が違うの?」という感じの人が殆どですので、もっと良い形でこのスポーツが目立って欲しかったなあという気持ちですね。何より、これによって「危ないスポーツ」という印象がついて、競技人口が減らなければいいなと思っています。ちなみに、入ゼミの先生面接の際、自分の願書を見た先生からアメフトの話が振られ、この先生はアメフト知っているのか!と驚いたことは今でも覚えています。(そして話題がそこに行っただけで正直大変助かった...)



昨年の寄稿ではSHIBUYA109を運営する子会社に出向したと書かせていただきましたが、18年度はそこで主に新規の企画や新規事業などの立ち上げを行っています。昨年4月には渋谷スクランブル交差点を見下ろす展望台などもオープンしました。おかげさまで連日外国人観光客を中心に多くの人に来訪いただいております。新しい渋谷の観光スポットになれば嬉しいなと思っています。ハロウィンと年末カウントダウンの際にはどちらもそこにいたのですが、見下ろすスクランブル交差点の群衆の様子は本当にすごい光景でした。まあでも上から見ていくらいがちょうどいいのかもしれません…。ちなみに、ハロウィンもカウントダウンも、外国人のみなさんの比率が年々高まっているという印象ですね。オリンピックに向けて、渋谷にも多くの外国人の皆さんが来るようになったなあと日々実感しています。なお現在は、春過ぎから夏にかけて、いくつか事業を立ち上げる予定でその準備に奔走しているところです。



プライベートではアメフトも無事に大きな怪我も無くシーズンを終えられましたし、ジャズバンド活動も比較的本番の機会に恵まれた1年だったかと思います。そんな感じで過ごした18年度でしたが、平成最後の本年も皆さんどうぞよろしくお祈りします。

